

魚津市における小中学校教育のあり方について

1. 市内小中学校現状

・教育環境の充実を図るため、平成 26 年 3 月に策定した魚津市学校規模適正化推進計画に基づき、当時 12 校あった小学校を 5 校へ統合。このほか、現在、市内に中学校 2 校有。このうち、**東部地区の経田小学校及び清流小学校、東部中学校が、老朽化**（別紙資料⑥）。

○魚津市学校規模適正化推進計画枠組み

新小学校名	旧小学校名	統合年度	校舎
清流小学校	片貝小、吉島小、西布施小	平成 28 年度	旧吉島小学校校舎を利用
よつば小学校	大町小、村木小、上野方小、本江小	平成 30 年度	旧本江小学校校舎を新設
星の杜小学校	住吉小、上中島小、松倉小	平成 31 年度	旧住吉小学校校舎を新設
（統合未済）	道下小、経田小	—	現道下小学校校舎を利用

2. 魚津市学校規模適正化推進計画の検証作業の結果

・令和 5 年 2 月に統廃合が未済の小学校も含め、今後の取組に活かすため、魚津市学校規模適正化推進計画の検証作業を実施。検証の総括の概要は以下のとおり。

①令和 5 年度を目標年度として、統合することとしていた**道下小学校と経田小学校については、引き続き対象地域の児童数に注視し、関係者との調整に努め、統合を目指すことが重要。**

②**通学区域については、場合によっては通学区域の変更や更なる弾力化を検討することが必要。**

③現計画は児童数に着目し、最適な学びの確保や効率的な学校運営を目指して策定されたが、少子化の進展により、**社会における学校教育に対する考え方が変化してきていることから、「魚津市における学校教育のあり方」についての検討が必要。**

3. 教育のあり方意見交換会の結果

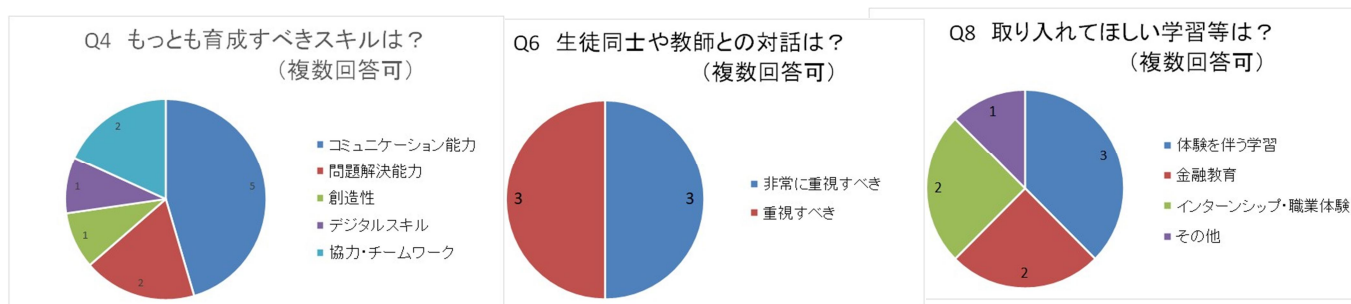
・令和 5 年度に第 3 期魚津市教育振興基本計画策定の参考にするため、これからの理想の教育環境について、第 1 回は高校生、大学生及び新卒社会を、第 2 回は市内小中学生の保護者を、第 3 回は市内企業の採用担当者を対象に「**教育のあり方意見交換会**」を開催。主な意見は以下のとおり。

第 1 回（令和 5 年 8 月）：**学級編成基準**（現在は小学校：35 人、中学校 40 人学級）よりも少ない 20 人台ほどの**学級編成を要望。こどもの意見も取り入れた行事運営。不登校対策の充実等。**

第 2 回（令和 5 年 10 月）：学級編成基準よりも少ない 20 人台ほどの学級を要望。**個に応じた指導等。**

第3回：（令和6年2月）人間力を高める教育やふるさと教育の充実等。

○主なアンケート結果：



4. 学校教育のあり方検討の必要性

・以上のことに加えて、今後も少子化の流れは継続（別紙資料⑦）することから、**第3期魚津市教育振興基本計画の策定を進めるにあたって、本市が目指す教育の基本理念を踏まえて、その基本目標を達成するため、概ね10年後を想定した魚津市全体の小中学校教育のあり方（方向性）を検討する必要有。**